

アビリティガーデン施設概要

(生涯職業能力開発促進センター)

生涯職業能力開発促進センター 管理部 企画調整課

1. はじめに

これまで雇用・能力開発機構は雇用促進事業団の時代から40数年来、主としてブルーカラーを対象とした職業能力開発を実施してきたところです。

しかし、近年の経済社会情勢の急激な変化に伴い、ホワイトカラーの職務内容が複雑かつ高度化してきました。こうした状況のなか、アビリティガーデンは1997年7月にホワイトカラーの職業能力開発に関する総合的かつ中核的な施設として設立され、現在6年目になります。

アビリティガーデンは機構における中央三施設という位置づけがなされており、当施設で研究開発されたホワイトカラーの職業能力開発に関するカリキュラムモデルや研修プログラム等の成果物を全国へ普及させるという役割をもった研究開発施設です。もちろん普及させる前段階としては、コースカリキュラム等を実際に教育訓練事業のなかで実施・検証をしています。時代の要請により実施施設としての役割もさらに重要視されるなか、既存の建物の隣に5階建てのハローワーク墨田との合築棟が平成14年11月末に完成し、平成15年4月には本格的に4・5階階で増設アビリティコースを実施する計画です。このような能力開発施設とハローワークが一体になった施設は全国初であり、今後の動向が注目されることになります。

今回の掲載内容は「技能と技術」の趣旨・目的に



写真1 アビリティガーデン外観

そぐわない部分もありますが、ブルーカラー系指導員にとって比較的馴染みの薄いアビリティガーデンの事業を少しでもご理解いただければ幸いです。

2. アビリティガーデンが提供する3つのサービス

アビリティガーデンでは、①シンクタンク、②キーステーション、③ネットワークセンターの3つのサービスを提供しており、それぞれのサービスのなかでは以下の事業を展開しています。

① シンクタンク

ホワイトカラーの職業能力に関する研究と実践

- ・調査・共同研究開発事業
- ・教育訓練事業
- ・遠隔通信事業

② キーステーション

職業能力開発に関する情報の発信と相談活動

- ・ 情報発信事業
- ・ 相談援助事業

③ ネットワークセンター

職業能力開発に携わる方々の交流支援

- ・ 人材交流・啓発普及事業

3. 各事業概要紹介

3.1 調査・共同研究開発事業

ホワイトカラーの職業能力の開発はブルーカラーの場合とは異なり、その手法が確立されているわけではありません。例えば、英会話やパソコンについてはそれなりに教育訓練の手法が確立されていますが、ホワイトカラー労働者にとって最も重要な企画力、交渉力、問題解決能力といった能力は従来職場におけるOJTによって能力開発が行われてきており、どうすれば身につけることができるのか、その手法は必ずしも明らかになっていない部分が多々あります。そこでこの事業では、ホワイトカラーの能力開発を効果的に実施できる教育訓練手法と教育訓練コースのカリキュラムモデルを開発するために、さまざまな産業の職務実態を分析することから取り組んでいます。具体的には、団体の事務局や傘下企業から推薦された産業界の方、学識経験者、当センター職員の三者構成による人材高度化研究会を開催し、企業ヒアリング調査やアンケート調査をもとに議論し、その業界の抱えている課題を整理しています。各産業ごと、総務、営業等の分野別、また一般社員、管理職等の階層別に、職務の実態とその職務を遂行するために必要な能力が何かを分析する職務・職能分析を行っており、また各産業の企業幹部となった方々がどのような人事コースを歩んで今日に至ったか、そのキャリアを事例として収集しています。そして、それらを基礎として、その産業が抱える課題に対応した（業界・業種特化型）教育訓練コースのカリキュラムモデルを開発しています。約1年間の



写真2 人材高度化研究会

期間をかけて開催するこの人材高度化研究会のなかでは、教材、講師などの具体的内容についての検討も行い、業界の課題に対応した在職者のための教育訓練コースを開発し、各業種ごとに開発の経過も含めた報告書としてまとめ、全国の機構施設や関係機関等に配布し活用されています。

また、取り上げるテーマとしては昨年度より従来の業界・業種に特化したものだけではなく、今後は異業種の融合が新しい産業を生み出すことが多くなると予想されることから、異業種の融合を視点として、“企業や勤労者個人の市場環境や雇用環境への変化に対応するための支援”というコンセプトで幅広くテーマを設定した研究会も進めています。

過去にアビリティガーデンにおいて当事業に取り組んできた業界およびテーマは次ページの一覧のとおりです。

具体的な取り組み事例を10ページに掲載しています。



写真3 報告書

3.2 教育訓練事業

この事業では、人材高度化研究会を通じて開発された在職者の方のための能力開発セミナーと離転職者の再就職を目指したアビリティコースを実施しています。能力開発セミナーとしては各産業界のさまざまな課題に対応し、業種ごとの職務内容の特徴を反映した業界・業種特化型コースと各産業界に幅広く共通する課題やホワイトカラーに求められる本質的能力などに対応した全産業・業界共通コースを実施しています。単に開発したコースを実施するだけでなく、コースの有効性を検証し、必要に応じ内容の改訂を行っており、より完成度の高いセミナーカリキュラムの作成を目指すために人材高度化研究会で約1年かけて開発したコースを、その後2年かけて実際にアビリティガーデン内で能力開発セミナーとして実施・検証しています。



写真4 セミナー授業風景

ーとして実施・検証しています。そうしたなかで有効性の高いものやニーズの高いものについては全国に向けて普及しています。

能力開発セミナーは、今年度95コース168回を計画・実施しています。

これまで取り組んできた業種等（平成8年～平成13年度）	
○建設業 ・総合建設業 ・室内装飾業 ・電気工事業 ・空調衛生工事業 ○製造業 ・電気機械器具製造業 ・自動車・同付属品製造業 ・金属工作機械製造業 ・産業用電気機械器具製造業 ・グラフィックサービス工業 ・システムハウス業 ○金融・保険業 ・損害保険業 ○卸・小売業 ・百貨店業 ・アパレル産業 ・専門店業（婦人服） ・酒類卸売業 ・自動車販売業 ・DIY業 ・家電販売業	○運輸・通信業 ・旅行業 ・トラック運送業 ○サービス業 ・情報サービス産業 ・ボウリング場産業 ・旅館業 ・警備業 ・ビルメンテナンス業 ・人材派遣業 ・介護サービス業 ・人材紹介業 ・ホテル（シティホテル）業 ○テーマ型 ・総合的汎用 ・エクセレントマネージャー ・ベンチャー ・ヒューマン&コンセプチュアル ・アクティブシニアビジネス事業 ・ビジネスパフォーマンス ・IT化対応

また、アビリティコースについては、今年度8科22コースに520名の定員で計画・実施していますが、平成15年度は、冒頭にも触れたとおり増築棟建設に伴いアビリティコースが3科増設され定員も増えることとなります。

教育訓練コース開発の手法については7ページに掲載しています。

3.3 遠隔通信事業

この事業で実施しているAGネットは、ご存じのとおり通信衛星を用いて全国の機構施設に配信をしているものです。このシステムの最大の特徴は双方向性を持たせていることであり、これにより遠隔地にいる受講者とアビリティガーデン内のスタジオにいる講師との間でのリアルタイムな質疑応答が可能になっています。

また、最近の新しいAGネットの活用としては、11月2日より開講された「キャリア・コンサルタント養成講座」があります。

詳細なAGネットの内容については20ページに掲載しています。



写真5 スタジオでの講義風景

3.4 情報発信事業

調査・共同研究開発事業で収集整理した能力開発に関するさまざまな情報をデータベース化し発信しています。具体的には、全国のどの県でどの分野のどんな教育訓練コースがあるか、どこにどの分野の

講師がいるか、など能力開発を実施するために必要な情報を得ることができます。これらの各種情報はアビリティガーデンのホームページより閲覧することができ、データベース項目内容は以下のとおりです。

- ・能力開発教育コース情報・能力開発教育機関情報
- ・講師情報・教材情報・能力開発技法情報
- ・ライブラリー情報・生涯職業能力開発体系図情報
- ・キャリアパターン情報
- ・能力開発セミナーカリキュラムモデル情報

URLは以下のとおりです。

<http://www.ab-garden.ehdo.go.jp/>

アビリティガーデンホームページの能力開発データベースを利用した相談・援助業務の展開については23ページに掲載しています。

3.5 相談援助事業

産業団体、企業および勤労者個人の職業能力開発に関するさまざまな相談に対応しています。全国の職業能力開発施設と連携を図りながら、多くの実績を持つ専門家が総合的、専門的アドバイスを提供しており、ホームページ上においても電子メールを利用してホワイトカラーの職業能力開発に関する相談を受け付けるガーデンアドバイザーを設置しています。

また、この事業のなかで、キャリア形成支援として以下の3つの業務を実施しています。

(キャリア形成に係る支援業務)

アビリティガーデン独自のキャリア相談支援ツール「STAR2001」を用いて相談者のこれまでの職務の棚卸しをし、今まで何に携わってきたか、何ができるか、といったスキルチェックを実施し、今後の能力開発目標を決め、それに従った能力開発プランの策定を行っています。

(研究開発業務)

キャリア形成支援を実施するために必要なツールや技法の開発と、開発に必要な資料の収集・分析を行っています。



写真 6 キャリアカウンセリングの様子



写真 7 講演会 質疑応答の様子

(キャリア形成支援担当者育成業務)

専門知識に精通した、キャリア形成支援担当者を育成するための養成講座について開発・検証します。

近年、キャリア形成支援事業は、機構の主要事業として展開されており、「キャリア・コンサルタント養成講座」においても開発段階から関わっています。

また、アビリティガーデンが開発したツールや技法を駆使して各産業団体、企業内における職業能力開発環境をパワーアップする人材の育成を目指しています。

最近の新しい再就職支援の取り組みとしては、一般の中高年求職者を対象にした「キャリアデザインセミナー」を試行的に実施しています。20数名の定員で1日6時間、計5日間かけて再就職を成功させるためのより効果的な就職活動の手法はもちろんのこと、同じ境遇にある者同士がこれまでの職務経歴や再就職にかける意気込みなどを発表するなどしてお互いに感化し合いながらモチベーションを維持・向上させ再就職に結びつけようとするものです。

3.6 人材交流・啓発普及事業

産業団体、企業等の職業能力開発に関係する方々に向けて以下のイベントを定期的で開催し、職業能力開発に関する情報・意見の交換、交流の場を提供しています。

(アビリティガーデン講演会)

産業界の著名な経営者等により、職業能力開発等

に関するタイムリーなテーマで開催しています。テーマとしては

- ・産業界を取り巻く環境の変化
 - ・社会的要請の変化に対応した経営と人材育成
- などで、新たな職業能力開発の方向性を探っています。

(アビリティガーデンフォーラム (シンポジウム))

職業能力開発等に関する学識経験者、コンサルティング企業の実務家等によるシンポジウムを開催しています。例えば「高度化、複雑化する現代の職務に対応した職業能力開発とは」といったテーマを検討し、さまざまな視点から新たな職業能力開発の可能性を探っています。

(産業間交流会)

産業団体、企業等の職業能力開発関係者のネットワークづくりをねらいとして、参加者による事例発表と質疑応答を中心に、参加者相互の情報や意見交換の場を提供しています。

